

4. 認知症サポーターの育成

認知症の方は地域においても急速に増えつつあります。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の方や家族に対して温かい目で見守る応援者です。地域のみんなで認知症の方を見守り、支援できるよう学習会を開いています。



地域だけでなく、事業所による見守り活動を始めませんか？

見守りネットワーク協定事業所を募集しています

現在、福智町ではモデル地区を設定し、地域における高齢者や障がい者、子どもなどの要支援者を地域のみなんで見守り、支え合っていく体制をつくっています。しかし要支援者は今後ますます増加してきます。こういった要支援者の見守り、支え合いのネットワークをより強化していくために、普段住民の方と接する機会（配達、販売、窓口業務など）のある事業所の皆さまにご協力をいただき、さらなる見守りの重層的ネットワークをつくっていきたいと考えています。

主な役割

連絡

報告

協定締結事業所

普段の業務のなかで、住民に関する何らかの異変に気付いた場合、福智町社会福祉協議会に連絡してください。

「あれ？ おかしいな？」

- ・新聞がたまっている
- ・子どもがいつも泣き叫んでいる
- ・高齢者の様子がおかしい

福智町社会福祉協議会

連絡を受けた場合、地域住民や関係機関等と連携を取りながら、訪問するなどして必要な対応や支援をおこないます。

連携

福智町

関係団体に対し、協定の周知をおこなったり、協定締結事業所の連絡会議を開催するなど事業の円滑な実施を推進します。

※協定締結事業所のご協力はあくまでも日常業務の中であって、職員の方々の負担になったり業務に支障のない範囲内での協力です。ましてや、この協定締結により何かの責任を負うということはありません。問い合わせは地域福祉課（22-3778）まで。